

ニューヨーク公共図書館本館【スティーブン・A・シュワルツマンビル】 訪問 事例報告

教育長 布川敦



- ・ニューヨーク公共図書館は、1895年に創立された。5番街と42丁目の交差点にある。
- ・蔵書量は5500万点を超え、利用者は年間1700万人にのぼる「知の殿堂」である。世界4位、全米2位を誇る図書館となっている。
- ・4つの研究図書館と88の地域分館からなる複合体である。

○ 図書館正面に一对の大理石のライオン像
アスター・レノックスから「**忍耐**」と「**不屈**」に変更



アスターとレノックスの2つの図書館が統合され、1911年に造られた大理石でできたライオンが2頭、正面玄関の左右に鎮座している。

世界恐慌を乗り越えるためニューヨーク市民にとって欠かせない資質として「**忍耐**」と「**不屈**」が必要とされ、1940年代にこの名称に変更された。

その名称は、ニューヨーク市民に快く受け入れられている。

官民パートナーシップの公共図書館 政府・民間出資 合計年間400億円程度 マスターホール



正面入り口から入ると大理石でできた壮大なスペースが現れる。マスターホールだ。図書館としての威厳を示し、知の殿堂らしいエントランスである。

建造物は左右対称を基本として設計されている。ローマの神殿を思い出させるボザール様式の建造物で、世界中から観光客がひっきりなしに訪れている。図書館としても、歴史的建造物としても非常に価値がある。

誰にでも利用できる公共の図書館へ脱皮



もともと、ニューヨーク図書館の会員になるためには、**多大な料金を支払わなければならない**、ほとんどの人は図書館の会員になる余裕がなかった。

ティルデン財団が公共図書館を建設する時に、**世界最高の授業料無料の大学(図書館)**だと自負している。通りの向かい側に別館として**貸し出し図書館**があり、市民や会員は世界中のどこからでも本を借りて返却することが可能。返却が遅れても罰金はかからない。休館日は**日曜日**。

閲覧室が充実 一般用・研究者用・学生用もある



ローズ・メイン閲覧室
3階にあるローズ・メイン
閲覧室。世界中の研究者
や観光客を惹きつけ、一
般の方も利用できる3階の
最も大きなスペースを占め
る巨大な公共閲覧室であ
る。有名な映画の撮影現
場としても利用されている。

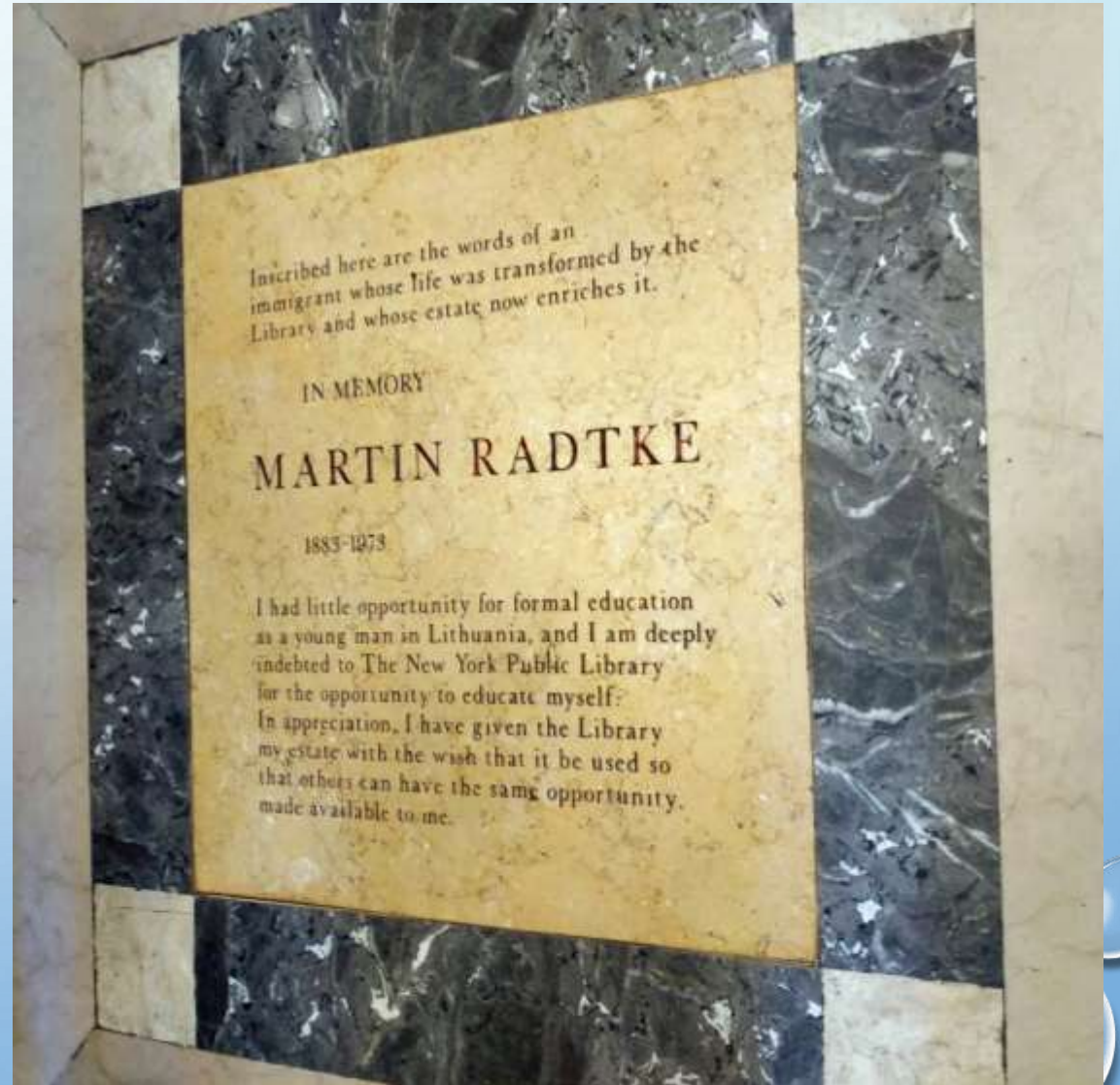
デヴィット・ウォレス閲覧室 マグロウ・ロタンダ閲覧室

学生や一般・研究者など閲覧室が別室となっている。夜にはパーティーやイベントの会場となる。



リトアニアに住むポーランド人 マーティン・ラドケ

- 1910年、マーチン・ラドケは今のリトアニアに住むポーランド人の若者だった。彼はあまり英語が話せなかったが、ガーデニングのスキルがあり、その仕事に就く事ができた。彼は仕事をしながら図書館で、多くの事を学び、大成し百万長者となった。床に特別な誓いの言葉が、彼への賛辞として刻まれている。 →
- 私はリトアニアの若者として正式な教育を受ける機会がほとんどありませんでした。自分自身を教育する機会を与えてくれたニューヨーク公共図書館に感謝を込めて私の全財産を寄付しました。他の人にも同じ機会があたえられますように。



エントランスは知の追求への第1歩



図書館の本来の目的を忘れず、鶴岡らしい図書館づくりに
生かしていきたいもの。

FIN